

職場で終礼を始めました

MS副委員長 梅津 薫

MS副委員長、梅津理美容グループの梅津薫です。入会は蔵王の前、山形に倫理法人会が出来た時からですからおそらく最古参の方ではないかと思えます。蔵王の役員をやり続けて7年目になります。仕事の関係で朝以外の催しには全く参加できないのが残念ですが、グラウンドホテルの地下に職場がありますし、せめて朝だけは参加しないといけないとの思いから、毎回必ず5時前に会場に来てMSの設営(主に資料配り、掲示物の掲示など)を担当させて頂いていただいております。

最近、山形の理美容業界もほとんど安いお店や大きいお店ができていますし、お客様の来店頻度においても月1回の方が1カ月半に1回というように減りつつあります。中には自分で散髪される方もいらつしやるのか。そうした中、現在お店は8店舗。24名のスタッフで頑張っています。お客様が期待していた以上

に喜ばれ、感動していただけて、そのお客様が新しいお客様を呼



んできてくださるようなお店を目指しております。

最近皆を集めて挨拶するときに倫理という言葉をよく使うようになった気がします。倫理の明朗・愛和・喜働や純情(すなお)というのは、人を相手にする私たちの商売にとって結構大事なことです。倫理を職場にどう活用すれば良いのか、また、スタッフに倫理をどう浸透させていくのかを常に考え、実践しております。スタッフ全員が技術的に優れているだけではなく、もつともっと人間的な魅力、つまりは人間性を大事にしてほしいと思うからです。

なるべく笑顔をつくるというのが最近心がけていることです。理美容の商売は周りが鏡。

笑顔が返事だと日頃職場で言っているのに、以前、「梅津さんは最初に合うと顔がおっかない」と言われたことがあります。自分自身がまだまだだなあと感じています。車に乗るとミラーを見て自分がどんな顔をしているか見てみたりして笑顔をつくる努力をしています。これはなかなか難しいです。

倫理ネットワーク第82号に「終礼をはじめよう」という記事が掲載されていきました。そこでお店でこれまで続けていた終礼スタイルを変えて記事の要領に沿った内容の終礼を始めました。開始10秒前です。とか今日一日！ありがとうございます。解散します、解散！とか連絡や報告も含めてまだまだちゃんと示しているわけではないのですが、示してある基本に忠実に進行しております。

商売柄若づくりしていますが、まもなく還暦です。既に同級生を集めて還暦祝いをしてしまいました。でも蔵王には元気な大先輩もたくさんいらつしやるので、若い人に負けないように蔵王をどんどん盛り立てていきます。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

5月のMS

- 5月1日(土) 第310回
『「倫理雑感」人生は面白い愉快なものそして素晴らしい』
講師：家庭倫理の会
会長 五十嵐勇次 様
- 5月8日(土) 第311回
『集中・率先しよう』
山形市倫理法人会
会長 柴田津與志 様
- 5月15日(土) 第312回
『天保三年創業 楯の川酒造の新たな挑戦』
講師：楯の川酒造
代表取締役 佐藤淳平 様
- 5月22日(土) 第313回
『線の実践』
講師：(社)倫理研究所
北海道・東北方面長
森本 宏 様
- 5月29日(土) 第314回
『アサヒビール㈱のCSR活動について』
講師：アサヒビール㈱ 山形支社
支社長 磯山 智 様



4月20日に観桜会が開催されました。27社34名のご参加でした。おいしい焼肉と魚介類、気仙沼あさひ寿司さんのお寿司、毛ガニの味噌汁、飲み放題。満開の桜が活けられ、とても華やかな宴でした。大満足(大満腹?)で帰途についた楽しい一夜。



恒蔵例王
観桜会

4月のモーニングセミナー便り

屋台村という街(その一)事業

山形屋台村 渡辺隆博 様

▼屋台村のきつかけは人のつながりでした。たまたま八戸の屋台村の社長が、本業も同業の友人でした。彼から山形の方でも是非まちおこしをやらうよ、ポランティアをやらうよ、それが自分に還ってくるのだからとお誘いをいただきました。▼どこかでつまづいたら終わりにするつもりでいたのですが、話がどこまで行っても止まらないんです。市の商工課は応援すると、土地の持ち主さんはたまたま流通センター仲間でもちおこしならいいよと言う。銀行がやろうとなり、もしやるなら産学連携で設計を芸工大にお願いしようよと、どんどん話がつなげていきました。▼これは屋台村を自分がやる運命なのかもしれないと考えるようになり、やる以上はちゃんとしないといけないということで東北のいろんな屋台村を見に行きました。そうしたらどこに行っても屋台村は楽しいんですね。そして人が賑わっている。街中は人が全然いないのですが、屋台村だけがある。屋台村が出来た周辺には新しい店ができてそこだけ活気づいている。これを見て山形にも屋台村が必要なのではないか

と本当に思いました。人とのご縁で、運命で、屋台村が動き出したのです。▼屋台村は中心市街地の活性化を狙っている奥が深い事業です。そのためにはまず街中に人の賑わいをつくりたい。人が集まってくることで色んな商売が成り立ってきます。飲食業の他にも物販に展開できたりといろんな賑わいを作れるようになります。しかし、もし街中に賑わいを作ったとしても、後を継ぐ人がいなければ廃れてしまいます。山形がどんどん干上がっていかないように若手企業家を育成していくこともとても大事です。▼施設は環境型対応ということで外壁は間伐材を使いました。思わぬ効果として声の響きと音を吸収してくれるので懐かしい音がします。また、焼却灰を固めたエコブロックを使用しています。

一貫不怠

(社) 倫理研究所 法人局
教育業務部長 内田文朗 様

▼万人幸福の葉の中に「成功」という言葉が4か所ほど出てまいります。▼何をもって成功というかは別といたしまして、成功の条件はチャンスをつまみえられる人でなければなりません。もう一歩突き進めてみますと大きなチャンスを捕まえるためには普段から小さなチャンスを掴む練習をしておけというわけです。当然小さなチャンスが到

来しても掴むことはできません。▼では小さなチャンスを掴む練習とは何なのか。それは、気が付いたらすぐする、目が覚めたらさっと起きる、TPOは大切ですが思ったことはさっと発言するということです。▼2番目は善処するです。物事を常にプラス、肯定的に捉える事ができるかどうか。人間同じことでも見方が様々です。否定的に捉える方、肯定的に捉える方と様々です。▼会議などでひとつの議題をポンと投げてみますと、大体大きく二つに分かれます。必ず1回反対をされる方。出来ない理由を並べたてる方。要するに1歩前に進みたくない。もちろんそういう場合も必要でしょうが、長い目で見ますと物事をちよつと危険な部分もあるかもしれませんが、肯定的に前に進まれる方が最終的には成功を収めることがあるように思います。▼3番目は常に目的、目標が明確であること。目的や目標が明確であればそれまで気付かなかつたことに気付くようになります、見えなかつたものが見えるようになってまいります。



ミスミソウ



会長の元氣、モチアゲな話

第8回

自然との出会い

先週17日の蔵王MSは、降りしきる季節はずれの雪を見ながらの開催でした。翌日、山仲間と旧平田町の花、経ヶ蔵山474mのミスミソウ(雪の下でも常緑であるところから雪割草の愛称で親しまれています)に出会いに行ってきました。例年ですと4月の中旬ともなれば里山全体が萌え山桜が開花です。

今年も雪で月山新道は大荒れ、山行も危ぶまれましたが、円能寺登山口では晴れ間も見え行です。登山道の所々が雪で覆われた中、スマイレ、マンサク、春欄(シシバ)、岩団扇、狸狸袴もようやく花芽を出し、白、紫、ピンクの可憐な花ミスミソウが雪を割って今年も私たちを迎えてくれました。

ミスミソウは一時盗掘にあいほとんど枯渇したため、毎年地元の小中学生が株を移植し復活させた経緯があり、出会いに感動です。苦難の冬から幸福の春を迎えての開花に倫理の教えに通ずるものを感じたところです。

経ヶ蔵山は庄内平野の東面に位置し、近隣の人たちの信仰を集め神聖視されてきた歴史のある山で、山頂付近に平安朝時代に経典を埋めた須恵器の経塚が自然の岩窟にあり、鳥海山が眼前に望めるお勤めのスポットです。

県民の森、眺海の森にある「森の家」で蕎麦、麦きりの合盛りを頂きながら今年の山行を語ってきたところです。自然との出会いに感謝!

(蔵王会長池田修一)

